

アンゴラ総選挙に関する注意喚起

- 8月24日（水）はアンゴラ総選挙投票日です。
- 投票日前後の選挙活動、選挙結果に対する抗議活動、急な交通規制や空港の閉鎖等、不測の事態が発生する可能性があります。
- 当国では投票日（投票時間：7時から17時（入場は16時まで））は休日となりますが、できる限り不要不急の外出は控えください。

8月24日（水）はアンゴラ総選挙投票日となり、投票日前後の選挙活動、選挙当日の急な交通規制や空港の閉鎖の他、選挙開票結果に対する抗議活動等、不測の事態が発生する可能性があります。

また、投票日は、当国の休日（当館休館日）となり、7時から17時（入場は16時まで）まで投票が行われますが、選挙活動等により不測の事態に巻き込まれる可能性も考えられますので、できる限り不要不急の外出は控えください。また、外出の際は、目立たない服装（政党色に近い色は避ける）で行動してください。

選挙投票日前後にアンゴラに渡航・滞在を予定されている方及び、アンゴラに在住されている方は、以下の点に留意しつつ、不測の事態に巻き込まれることのないよう常に慎重な行動を心がけてください。

1. 各政党及び各候補者の遊説、集会またはデモ活動等が行われている場所及び関連施設に近づかないようにし、万一、デモ等に遭遇した場合には、速やかにその場から離れる。
2. 投票所及び開票所などの選挙関係施設には近づかない。
3. 特定の候補者の非難や支持など不用意な言動・議論を慎む。
4. ラジオ・テレビ・インターネットなどを通じて、最新かつ正確な集会・デモ及び治安情勢に係わる情報の入手に努める。
5. 人気のない地区への外出及び夜間の外出を控える。
6. 流言飛語に惑わされない、SNS等の情報を過信しない。
7. 不測の事態に備え、食料品、飲料水、燃料等の備蓄及び帰国渡航費用等の準備をしておく。

また、引き続き、最新の治安情報入手に努めるとともに、「目立たない行動を心がける」、「行動を予知されないよう努める」、「用心を怠らない」という安全のための三原則をしっかり守って行動し、自らの安全確保に努めてください。